

第5回 新たな文化施設の整備に関する有識者会議

日時：令和7年5月15日（木） 10：00～12：00

場所：鳥取市役所本庁舎7階第2委員会室

参加者

有識者：五島朋子会長、倉持裕彌副会長、河合真由子委員、赤山渉委員、
木谷清人委員、田邊徹委員、齋藤頼陽委員、湯浅いづみ委員、川崎富美委員

鳥取市：企画推進部 河口正博部長

文化交流課：中村和範課長、入江竜生課長補佐、藤田佳緒里主任

教育委員会生涯学習・スポーツ課：浜田哲弘課長、平田政志課長補佐

総務部資産活用推進課：福井一郎課長

政策企画課：上田貴洋課長

まちなか未来創造課：筒井真二課長

PwC：片山（オンライン）、吉田、鈴木

【議事要旨】

1. 開会

2. 議題

（1）基本構想（案）に係る委員のご意見

※資料1について、事務局より説明

＜質疑応答・意見交換＞

【会長】個別に委員の方々にお聞きした意見をまとめたものを資料1として提示いただいたが、これに関してご意見はあるか。

【委員】自身の意見の補足をする、「ホールは音響が良いものが良い」とあるが、例えば音響に特化して、そういうことで県外とかあるいは世界的なミュージシャンがここを利用したいと思わせるような施設にする等、ここしかないような特徴のある施設ホールにする方がいいんじゃないかという意見である。再

編統合について、施設を単体あるいは複数で整備するというのは、全体が見えにくい。今回の委員会の中で、大規模な建築を作るのではないということを、それはあくまでも候補の一つであって、その辺の誤解が生じないようにしてもらいたいということは何度か言った。また、人材育成に関しては、段階的な整備となる場合に活動する場の確保が必要とは書いてあるが、段階的な整備とならなくても、全体を一括で整備する場合においても完成まで長期に渡るので、その間に人材育成ができるようにということの考えである。

【会長】資料 1 の主なご意見について、私の意見もいくつか書いていただいているんですが、文脈が抜けていて、ちょっとよく意味がわからないなところもある。汲み取りやすいように書いてあるのかもしれないが、先ほど言われたようにいろんな意見交換したときの文脈が抜け落ちてちょっと入っている意見も多数あって、これをどのように使われるのかなというのが気になる。これはどのような形で、使うということで挙がっているものか？

【事務局】使い方について、伺ったご意見を基本構想の方に、全てはないが反映させていただいている。

【会長】そうすると基本構想の中でこういった意見を、市としては特に基本構想に反映したという風なことをお伝えいただいた方がすっきりするかなと私は思いますが。とりあえず他にこの資料 1 に関して特にこの時点で、ご意見ご質問ある方、お願いします。

【委員】とても細かいことかもしれませんが、やっぱり短くすると先ほど会長からもありましたが、意味がちよっと通じにくく、誤解を与えてはいけないという意味で、私の意見の部分、収蔵庫保管スペースの⑤のところですけども、収蔵品がたくさんあるので難しい優れた収蔵品を、収蔵品がたくさんあるんだと今、現在、だから収蔵庫いるんだという意見ではない。収蔵品は幅を広げればいくらでもたくさん広がるけれども、選別が難しいということを言っている。優れた作品の収蔵に限って収蔵していかないと、選別をして、何でもかんでも収蔵庫を 22 度 55% の空調環境でというのは難しいですよということなので、ニュアンスがかなり読み方によって違うので、今申し上げた意味で私は申し上げているので、改めてよろしくお願いします。

【会長】そういう意味では私もちよっと言った内容と違うなというのはあるんですけどとりあえずここでは、もう細かくなるので申し上げないが、そういう意味でこれがこのままの基本構想の資料として、付けられるとちよっとだいぶニュアンスが違ってしまふなというのを懸念したところ。

（２）基本構想（案）について

※資料 2、3、4 について、事務局より説明

＜質疑応答・意見交換＞

【会長】それでは、これが基本構想案について意見交換できる最後の機会だと思いますので、ご質問ご意見はいかがでしょうか？

【委員】20 ページについて、今までイメージ写真だったのが、今回初めてイメージイラスト的なものが入ってきて、今までちょっと見てなかったんですけど、絵があるのはもちろん分かりやすいですし、この表現方法についてどうこう言うつもりもないんですけども、ただ、例えば 20 ページのホール機能のイメージはホールこれですねという感じだが、今回はどういう方向を目指しているのかというのは、市民は多分絵を重視する。こういう絵を見てこういうイメージになるんだというのに、なんかあまりにもそれぞれの部屋が普通だよね、これでというようなのが続いてまして、特に 22 ページの見ることのできる練習室のイメージ、大きな開口がその練習にあるということは特徴になると思うけれども、これもただ単に大きな開口であればいいというわけではなくて、周囲の質や状況とかを、まずより立ち寄りたくなるようなそういう導線がどこにあるとかというのが、ちょっと絵ではなかなか分かりにくい。23 ページの交流スペース、これカフェですね、普通に。それが今言ったその部屋だけではなくて、周囲との関わりとか状況とかがなかなか見えにくいところかなという。クリエイティブ空間のイメージについても、ただ単にこの 1 室をクリエイティブ空間にするというわけじゃなくて、例えばいろんな機能を持った他の部屋とかあるいは屋外でもいいと思うんですが、屋外と連動しながら屋外と一緒に活動する、表現ができる場にするとかというようなことがちょっと分かりにくい、表現がどうなんだろうなという気はした。それでそういう細かい特徴とか何かになってくると、今回はあくまでも基本構想なので、その辺については基本計画と言われるかもしれないが、それはそれでいいけれど、何か何となくもうちょっと何かができるんだというようなわくわく感みたいなのが欲しいなと思った。

【会長】全く賛成で、逆にこの一般的イメージで固定してしまっているのか疑問。今まで議論して膨らんできたイメージを全部そぎ落としてしまった印象なので、かえってイラストはない方がいい。もしくは例えば、いろいろな使い方の可能性があるということを、1 つの機能に 4 枚程度のイメージを載せることで、1 つのイメージに固定することを避けられるのではないかな。

【委員】写真と併用でもいいと思う。イラストがあって写真のイメージがあって。

【会長】新しく整備する施設であるにもかかわらず、一般的なイメージに固定することは避けたい。例えば P20 のホールの絵では演奏会が行われているが、これでは、音楽ホールを整備する予定と受け取られかねない。またそもそも音楽ホール、あるいは音楽演奏をしている絵だとしたら間違っている。例えば、ステージ天井に照明がついているが、このような楽器演奏であれば、音響反射板でステージは覆われているはずで、そもそも間違っているのでは、掲載すべきではないと考える。

【委員】場所についての具体的な言及はできないのかなというのは何となく理解できたが、建物のベーシックな性能は、ここではないこの先の計画とかに落とし込まれていくのか。あるいは、この構想の段階で、例えば耐震だったり、あるいは防災拠点となるような話だったり、あるいは外観が周囲の景観と

調和していたりとか、そういう話というのはどこの段階で入るものなのかなというのがちょっと分からない。もしここに入るのであれば、すっぱり抜け落ちちゃっているようなイメージがあって、そのあたりどういう感じかなと思ひましてお伺いしたい。

【事務局】詳細につきましては、今後の基本計画に入れていくということで考えているが、防災機能があつたらいいとか、耐震性能はもちろんのこと、そういう部分につきまして、そういった大きなところにつきましては、この構想にも載せていくべきものなのかなと思っているので、ちょっと抜け落ちていたところはあるのかなと思う。今、ご指摘があつたので、そのような部分については入れていくことを考えてまたお示ししていきたい。

【委員】Ⅲ.施設機能の記載について、次ページ以降の（１）（２）（３）・・・は、おそらくこのイメージ図に書かれている单元と思うが、それぞれが非常に関係しているというよりも、これはワンセットじゃないですとかいうのが、実は（４）と（５）である。展示機能と収蔵保管機能は、ほぼほぼ一体として考えないといけないのかなと思っていて、もう少し進んだ段階でそうしますというふうになったらそれでいいが、バラバラの話ではないということ。例えばホールと展示は、別の場所でもいいかもしれないが、展示スペースと保管機能というのはワンセットのものなので、ちょっと表現の仕方が、单元の分け方という問題なのか、それだけで済むのか、あるいは元の図がこうなってるからと言うけども元の図は、6個に分けたというだけの話なんで、そこをこのままでいけませんと言ってるわけじゃないが、（４）と（５）は、少なくともワンセットだよなというのはどこかに記載してほしい。というのは、例えば人材育成があるが、それは展示機能にも関わる問題になりますので、そういった意味でも、（４）と（５）はワンセットかなと思っていた。全体の編集の中で整合性が取れるようにしていただければ、結構かとは思ふが。

【会長】機能と諸室を切り分けるのは難しいため、そのような表現になっているのだと思われるが、1回（事務局で）整理していただければと思う。

【委員】資料4の市が行っている文化芸術に関連する主な事業の例があつた。これがあることで、今どのような事業が行われているかということが具体的に分かって、そのことによってどんな機能やどのような場があればいいかというようなことが、少し見えたように思う。それでいくと、それぞれがいろいろな機能に関して、やっぱり思い描くところに限りがあるとか、自分の関わるところでそういった機能を限定してしまつてるところがあるのかなと思っている。そういった面では、改めて具体的な使い方、今どのように使われているかということを示すことは、とてもいいことだなというふうに思った。それでいくと、収蔵保管機能というのは、私はあんまりよく分からなくて、事前の意見についてもわりとひどいことを言つてしまつたなど資料を見て改めて思っている。今現在、例えば具体的に市として後世残すべき優れた作品の収蔵や保管ということが書いてあるが、今現在のものをどこに収蔵されていて、実際、新しい施設にはどのようなものを置こうとしているかというところが見えにくいので、そのような資料があつたり、そのようなことを具体的に示していただくといいのかなというふうに思う。ついつい陶芸品であるとかというようなイメ

ージを持ってしまったので、事前にこのように書いたが、多分それだけではないと思うので、そのような資料があるといいかなというふうに思った。

【会長】今の時点で事務局から何か回答いただけるか。

【事務局】現時点では、鳥取市の方には収蔵庫というのがなく、やまびこ館の方にはあるが、そういったものがないので収蔵品については今後、この構想案にも書かれているが、保管が必要な収蔵品の整理をしていきながら考えていく。

【会長】先ほどの趣旨は、基本構想(案)に記載されている「後世に残すべき優れた作品」とはどのような作品かという質問ではないか。その質問に教えてください。

【事務局】地元から古く残されているような地元にとって大事なものというようなところが、まずはイメージとしてありまして、やはり今どういったものが後世に残すべき貴重なものかというところの判断は、専門家でないとできないと思っているので、そういった部分で専門家の人材育成等も考えていきながら、判断をしていきながら、貴重なものを収蔵していくということで考えている。

【委員】そうであるなら先ほどのお話にあったように、展示とセットということにやっぱりなるかなというふうに思った。

【委員】19 ページに機能のイメージ図があるけれども、この中でも展示スペースと収蔵保管スペースが離れている。少なくともこれは隣に置いてもらって、さらにその 2 つを枠で囲むとか、あとこの中でも連結できるものはそういう整理の仕方がいいんじゃないだろうかなと思う。

【会長】有識者会議では、これらの機能が展開する諸室を、重層的に、または多目的に利用すべき、という意見が多かった。この図は、令和 5 年にまとめられた「ホール等文化施設のあり方に関する提言書」に記されたもので、今回の有識者会議の議論を踏まえて、表現方法を改めて欲しい。

【委員】19 ページのところについて、文化芸術という枠の中に駐車場はそんなに大事なかなと思って、多分、市民の方は大変気にされる点ではあると思うが、レイヤーが違うのではないかなと。さっきの防災どうこうとかそういうことと同じレイヤーにあるのではないかなと思うので、ここは（６）でもいいのではないかな。育成・発信を後付けにするのではなくて、絶対組み込まれるものなので、（６）でいいのではないかなと。違和感を持った。

【委員】全く同じことを言おうと思っていたが、仮にすぐいろいろ考えてここに残すのであれば、駐車場が何かイベントスペースになるような、そういう可変的というか使い方を考えて、元々例えば太い柱を刺す穴がいくつも開いてるような駐車場だとか、そういう先を見た使い方ができる駐車場みたいなイメージがあるなら、ここでも最悪いいのかなみたいなことを思った。

【会長】P19 の図は、提言書で示された機能のイメージに、今回の有識者会議を経て育成・発信

機能が加えられたものだろうが、表現方法は先ほど述べたように工夫が必要。

【委員】この施設の中に中心市街地を想定されるとすれば、非常に駐車場が取りにくいということが、敷地の関係で出てくるので、そうすると駐車場なくていいんですかという話は、とても大きな問題になりやすいので、図の書き方はどうあれ、ちゃんと駐車場と書いておいてと言いたいぐらい。

【委員】駐車場の表記は残すことになると思う。

【委員】レイヤーはここというのは、確かに大きな問題があって、育成発信がむしろ上がった方がいいのかなと思う。プラス育成発信と駐車場の表記を逆にして。駐車場の下にプラス駐車場、というぐらいに大きな声で言っておきたいなというふうに思う。

【会長】事務局は、駐車場はベーシック機能として入る前提で、図を修正してほしい。

【委員】駅前再開発との連携みたいなことは、ここでは触れないのかなと思ったが。

【事務局】前回、前々回でしたかね、駅とは別に考えていった方が望ましいんじゃないかというようなご意見があったので、本構想では触れない形で考えているところ。

【委員】私は前回個別に申し上げたが、4施設の再編統合というところが、もうちょっと出たほうがいいんじゃないかと。一番後ろの方にそと載っていたんだというのをちょっと思って、これだと、ずっと新しい施設のことが書いてあると、なんか新しい施設ができるんだ、新しいのをつくるんだというのが印象として強いなというのがちよつと思うのが一つ、新しいのを特別に建てるのではないというのが、もうちょっと繋がりとして見えやすいほうがいいのかなというふうに思う。あと基本理念の17ページのところで、もうちょっと鳥取市がどういうまちになりたいのかということを読み込んだ方がいいんじゃないかと。反映して書いていただいたと思うが、もうちょっとわくわくするような文章だといいなと思った。全般的に今の段階で細かい突っ込んだことは書けないんだろうと思うが、具体的に想像しづらい。おそらく先程から他の委員がおっしゃっているように図表とかも通り一遍の当たり障りない絵が書いてあって、全体的にそういうニュアンスが見ていて感じる。何か新しいものをつくらうとしているんだなあ。結局どういものがつくりたいのかと明確なビジョンが見えない。なんかすごいとんがったもの、すごく具体性を帯びる必要はないんですけども、わくわくしない感じが正直言ってする。もうちょっと夢を語ってもいいんじゃないかなと思うけれども、もっとこうなりたい、こうしたいという、なにか現実的にできることをぼかして書いているから、どうしても取れるといえどもどうしても取れるというのがもったいないかなと思う。もうちょっと言ってもいいんじゃないか、夢語ってもというのが全体的に思う。駐車場のことは自分も思う。

【会長】当初から申し上げていることではあるが、市が行政として考える文化政策の中で今後新しい文化施設をどのように位置づけようとしているのか、またその施設で今後どのような公共的な文化事業に取り組もうと考えているのか示していく必要があるのではないかと。主体性なく、他人事のように「今後検討していくと良いですね」、という事柄が羅列されているが、そのために市としてどういう方向性を

持つのか書かれていない。一応理念や整備しようとする施設、配慮する事項などは記載されているものの、どのような事業を行っていくつもりなのかは触れられていない。有識者会議の意見として、市民、文化施設、地域が相互に連携し合いながら新しい活動を生み出していく場になったら良い、と示されているが、誰がどのようにして進めていくのかといった仕組みや組織、事業のあり方などの可能性については全く触れられていない。基本構想として必要な情報が抜け落ちている。整備手法の例が8例も記載されているなら、事業の例を示すこともできるのではないかな。いくつか例を挙げて、鳥取市はどのようにしていくか今後検討しますという程度ならば記載できるのではないかな。

【会長】P17の基本理念の英語表記については前々から疑義を呈している。インキュベーションを、日本語で使う場合には近年は人材育成という意味合いが入っているということのようだが、Art Incubation Hubとなると、芸術と拠点の話であり、「人」という要素が含まれているようには聞こえないため、これまで有識者会議で議論し提案されていた重要な視点が欠如してしまうのではないかな。単純に、Art（芸術作品と芸術活動）をインキュベーションするという意味と受け取られるのではないかと危惧する。インキュベーションには人材育成という意味合いも含まれているとすれば、Artに関わる人材育成と受け取れなくもないが、一方で、新たな文化施設が、今まで芸術活動に関心のない人や芸術活動に携わることができなかった人をも含めた拠点として、また芸術活動を広くまちづくりや教育、福祉などの領域に活かしていく拠点であるという意見を踏まえると、この施設が目指すところは必ずしも芸術が中心ではない。Artというと一般的には美術をイメージされ、今回の施設はホール施設の再編を発端としており、舞台芸術は当然ながら、さらに幅広い芸術活動が含まれていると理解しており、英語表現にするのであれば、Artの語を変えて、芸術や美術だけではない表現活動を広げていく拠点だということがわかる表現にした方が良いと、改めて申し上げる。

【委員】質問ですが、今回の資料3と4に関して、これは本編の中には入らないということか。本編に入るのは資料の市内のホールと文化についての概況とワークショップの結果概要というのが後につくということか。

【会長】資料4については、鳥取市も様々事業を行っているということだと思うが、どこが主幹しているかが抜け落ちている。現在の事業を踏まえて新しい文化施設で何に取り組むか、ということのための資料であれば、これまでの有識者会議の意見を踏まえて、鳥取市の事業で今まで実施的している部分と今後やるべき部分がわかるような資料として提供されると良かったように思う。

【委員】ワークショップの開催概要の資料で、参加人数は書いてあるが、多分この手の資料を出されるときは、参加人数は10名なら10名の簡単な属性のようなものも合わせて出された方がいいのか、男性女性とか年齢とか職業も例えば大雑把にくるとか。そういうふうにすると、どんな人たちが参加してどういう意見が交わされたのかというイメージが湧きやすいんじゃないかなと思った。個人が特定されない範囲で出されるといいかなと思った。

【会長】近年性別の記載は難しいと思うが、年齢や属性がわかるといいかもしれない。

【会長】有識者会議では、立地、既存 4 施設の統廃合と合わせて、新しい文化施設の整備スケジュールに関して委員からでた意見をもとにした複数の案が事務局から提示されたはずである。それらをもとに、委員からもまた熱心な議論が時間を割いて行われたにも関わらず、基本構想には示すことができないということであった。有識者会議は昨年度 3 月末までの任期であったが、事務局からの要請によって任期を延長してこの場に参加している。委員が多くの時間を割いて議論してきた結果、そもそも市は今後の整備計画について、誠意を持って、委員に説明する責任があるのではないか。市としてどうしていくのかをお聞かせいただきたい。

【事務局】議題の（3）今後についてというところでご説明する。

【委員】この展示収蔵機能というのが、どうも引かかるというか、このまま載せてもいいのかなと。美術館にするのではないという中途半端な状態でずっとあるので一般市民の方がギャラリー的に使われるということで、展示スペースがあるのは、今、文化センターやとりぎん文化会館にもあるが、集めたものもないし、これからどういうものを収蔵するかという計画もないのに収蔵庫を作ることが、私も学芸員の資格持っているが、常識では考えられないなという感じがする。結局、計画がないのに部屋だけ作っても足りなくなるのはもう目に見えてる。イメージ図もさっき話にあったが、平面物ばかりが飾ってあるが、こういうことにはならないだろうなと。立体物もかなり入ってくるし、ガラスケースもいるし、テーブルも必要なんだろうなと思う。やっぱり収蔵庫というのは、展示室のせめて 2 倍以上の広さはないと保存するという機能を果たさないと。、おそらく全て博物館とか美術館というのは、スタートは集めたものがあつたところから、計画が始まるのであって、何も無いのに作るというのはもう論外なんじゃないかなと思ってちょっとそこが気になっている。

【事務局】26 ページについて、まず規模感だが、先ほど収蔵品のことをおっしゃったが、箱を作る前に、収蔵品の数に応じて検討するということで規模を考えているので、収蔵庫を作った後に、収蔵品を考えるのではなくて、この構想の後に基本計画に移る段階までに、収蔵品の数を把握して、規模を考えていきたいというように考えている。

【会長】現在すでに寄贈を受けた作品があり、その中から全部または一部を移設することを市は考えているのだと思うが、先ほどのご指摘は、今後予想される寄贈作品にどう対応するのか、また新たに何らかの方針で収蔵するつもりがあるのか、といった方向性がない中で収蔵庫をつくるのは問題だという意見ではないか。文化活動については様々意見が出たが、確かに、収蔵庫の基本的な方向性が基本構想に記載がない。

【委員】この間個別で聞き取りされたときにホールのことであるが、客数だとか客席数だとかは今の段階では決めないということと言われたので、私が言いたいことは、もう書いてあるかなとは思いますが、800 席にした場合、とりぎん文化会館との住み分けが気になると 800 席だと大規模な大ホールと同じ

ような機材などを入れないといけないみたいで、そうなったときに回収できるのかとか工事費用もすごくかかってしまうと思うし、それはちょっと気になるところ。あとは、場所も中心地なのか駅前なのかで全然違うかなとは思っているが、それも多分今、言及されないということなので、とりあえず書いてある通りかなと思う。

【会長】一度施設をつくればその後のメンテナンスコストも確実にかかってくる。維持しやすさも必要になってくるので、10年、20年、30年と維持することも念頭に置いて検討していく必要がある。

【事務局】ご意見で出たところを補足であるが、まず本基本構想は、施設の整備に関する基本構想というところであり、ただ、事業的なものがちょっと抜け落ちているという点は確かにある。それで、事業的なものというわけではないが、構想案30ページのところに、説明はちょっと飛ばしたのですが、今後の管理運営というところで、どういったことをしていくかというような思いも多少載せているので、ご理解いただけたらと思いますし、わくわく感みたいなところの意見もあったが、そちらの方は18ページの方に文章がたらたら書いてありますけども、市としてどういったものを目指していくかというような考え方も載せているということをご理解いただけたらと思う。

【会長】施設の整備の基本構想なので、事業が入らないというのは、それはどういう見解か。今まで、建物の新たな整備というのは、どのような目的で何を行う施設なのか、といったビジョン、ミッションがまず重要であり、新たな文化施設の基本構想の検討にいくつか関わってきたが、事業や仕組みについて書かれていない基本構想は見たことがない。

【委員】さっき、わくわく感についてこのページのここに書いてありますと言われているが、どっかに書いてあればいいんだろうかというのがちょっと疑問で、そもそものその全体的なこの基本構想としてのそういうイメージがちょっと伝わってこないの、果たして市民の方々がこれを見て読んでくれるんだろうかというのがちょっと一番懸念というか、我々がずっとかけて話し合ってきたことがうまく伝わるんだろうかというのがちょっと思うところ。

【会長】P18の内容の土台は、私が有識者会議委員の方からの要請を受けて、鳥取市の幾人かの専門家方も踏まえた意見交換を行い、それをまとめて提案したもので、それを「市の思いとしてそこに書いています」というのは、納得し難い。市として方針を打ち出していく必要がある。

(3) 今後について

【事務局】本日頂いたご意見を踏まえ、修正し、最終版を会議という形ではないが、メール等で委員の皆様の方に共有させていただきたいと思っている。その後、パブリックコメントを6月23日から7月18日まで予定している。またそのパブコメを踏まえて修正した基本構想を再度委員の皆様へメール等でご確認していただき、7月末頃には基本構想の完成を予定しているところ。今後のスケジュール感ですが、基本構想の後に基本計画の策定ということを考えており、その基本計画の方も、各事業等いろいろありまして、32ページに今後の進め方で書いてあるが、一定の期間が必要となると思う。

その間に先ほど資料 3、4 でも示した鳥取市の事業を継続しながら、拡充しながら続けていきたいと思っている。ソフト事業、人材育成を受けて、新たな施設に求められるものとか、そういったものもご意見等をいただきながら新しい施設の整備に向かっていくというふうに考えているので、今後も引き続きご意見等も頂戴できたらと思っているところ。

【会長】では先ほどお尋ねした件についてお答えいただけるか。結局私達は年度末まで任期だったところをさらにその後も時間を割いて、立地やスケジュールとかについても結構議論をしたと思う。ところがそれについて結局、市としては今後どういうふうに考えてるのか。委員があれだけ議論したにも関わらず、それについて何もその教えていただけないというか、返ってこないというのはさすがにこのままここを帰れないなという気持ちがある。今後どういうふうにこの 4 施設の再整備を進めていくつもりなのかということをお教えいただきたい。

【会長】基本構想に書けないという話はもう何度も聞いたが、結局市はどうするつもりなのかというのを聞きたいということ。答えられないということだったら仕方がないが。

【事務局】立地の件については、現在答えることができないが、やっぱり市民の活動が大事だと思っているので、そういった部分が、活動の場を奪うことがないような体制で、今ある既存施設の改修も含めてやっていきたいと思っているところ。

【会長】間に答えてもらってないと思う。無力感を覚えているということは、この間も申し上げたが、非常に残念な形になっている。

【会長】今回が有識者会議の最後ということなので、委員の皆様から一言ずつコメントをいただけるか。

【委員】さっきわくわくしないと申し上げたから、具体的にやっぱりイメージできない。計画で多分決まってくるところがあるんでしょうから、イメージできないところがあるが、会議の中で何回か他都市の事例とか見たときには、こういうのができたら面白いよなとか感じる時間もあつたし、市民がよそから来た人に誇れるような建物になったらいいよねということも別の話でしたが、そういうイメージというのが持てるような構想だといいなと思う。だからわくわく感が 18 ページに書いてあるのは分かっているけれども、そこからそういうわくわくということが正直言って、しません。いろんなことができるんだなということは分かる。だが、そういうことでなくて、書いてある文章を一文でもいいからわくわくさせることはできると思う。そういうわくわくする文言が書いていないことが本当に引かかる。みんな興味持たないで、気づいていたら建っていたみたいになふうになって、そういうのは使われなくなる。そういう施設は。そうなるのが本当に怖いというか。その責任を少し負っているのかなと思うとどうしたらいいんだろうと思う。

【委員】3 月まで小学校の校長だったが、この 4 月に異動になって中学校の校長になった。中学校の校長という立場で改めてお伝えすると、部活移行のことがやっぱりすごく大きな課題になっている。鳥取市の方では令和 9 年度から土日の部活について、教員は出ないという方針を出されたので、

今はその土日の受け皿になる指導者を探すことを各校で行っている。加えてこういった施設が実現する先のことを考えてみると、本当に少子化があったり、この部活の移行のことがあったりして学校現場も本当にだいぶ変わっているのではないかなということを考えると、今やっている文化活動、文化芸術活動ということに関して言うと、文化部、吹奏楽部、美術部の活動というのは本当に学校単位ではなくて、学校同士の合同のチームであったり、あるいは地域が担っていくような役割が大きくなっていくのではないかなということが本当に考えられている。そうなったときに、その場ということできくと運動部などでは体育館やグラウンドが、今でも学校のを外の団体がシステムで自由に借りれるようにはなっているが、文化吹奏楽とか美術ということになると、学校を開けないといけない。ですからそういった活動が学校で土日にできなくなるとなると外にやっぱりその活動を求めることになる。この前そういう話になったときに、そういった意味でも今回のこの新たな文化施設の整備ということの中にそういった状況も見えていただくととてもありがたいし、そういったことを本当にこれから必要としているということをぜひここで改めて、今の趣旨ではないかもしれませんがお伝えしておきたいと思う。

【委員】展示系の施設を指定管理しているので、美術館について非常に興味がある。ただ、美術館と言うと、展示があって、収蔵があって、学芸員さんがいてというような従来の美術館の非常にイメージがやっぱり強く感じると思うが、実際には、例えば金沢 21 世紀美術館とか、様々な美術館のあり方が変わりつつあるということ。特に例えば県立美術館という床の間のような空間は 3 階にあって、1 階 2 階にはラーニングセンターがあってというようなラーニングセンターの部分というのは新しい美術館の方法ということもあると思う。例えば県庁所在地に美術館がないところは鳥取だけである。この間群馬県の大田市というところに行った。駅前降りてすぐに図書館、美術館という一つの建物でできている。非常に新しい美術館のスタイルがもう既に提案されていたし、あるいは群馬県前橋市に県立美術館が建ってなくて別のところに建っている。例えば前橋市の方は、従来の確かショッピングセンターと思うが、アーツ前橋という形で、もう全く新しい美術活動を、特に活動を中心にして展示はもちろんあるけれども、活動を中心にした美術館のあり方というものが、スタートしている。もう 10 年ぐらい前から確かあると思う。そういうやり方に、県立美術館が 1 時間ぐらいのところにあるわけで、とすればこういった美術館のあり方、しかも収蔵品がたいしてないのになという話になるわけである。それともう一つはデジタル IT という情報化社会というものに向けていくと、もう全く違った美術のあり方というものは、既に生まれつつあって、それは今のところサブカルチャーぐらいかもしれないが、それをもっとメインストリームになる可能性も十分にあると思う。昨日だったか、ソニーが過去最高の収益を上げていたが、ソニーはハードからソフトに転換した。ゲームももちろん寄与していると思うが、もう一つは音楽とかソフトの方に今変わっている。そうするとソニーが過去最高の利益を上げるというのは、そういったあり方が、相当変わりつつある。21 世紀は、というふうな思いがあるので、美術館で考えたときに、展示があって収蔵があって学芸員さんがいてというような従来型の美術館だけではなくと県立美術館でもやっぱりああいうところのような展示もするが、ラーニングセンターという新しい美術館のあり方というものを付加しながらやっているということであるので、床の間の美術館を県立に任せておいて、こっちの方は市民の活動を、もっと

充実した美術館というやり方はあるんじゃないかぐらいに考えていくと、ちょっとワクワク感がでないだろう
か。というぐらいちょっと幅広くあった方がいいのかなっていう気はした。

【委員】これはオーソライズされるのだろうかというのが正直なところになっていて、この後の修正とかも
多分あって、委員の皆さん、個別にメールで審議とかするんですけど、なんか落とし込み方がすごく難
しいなという印象を持っている。おそらく最終的には何かの形で出すということにはなと思うが、割と振
れ幅が大きかったなという印象があって、進みかけたら、すぐ戻されたり、いいアイデア出たぞと思っ
たら、ぼやけてきたりという、どうしてこういう波のようなよく分からないことになってしまったのかというの
は、おそらくこの委員会が産み落とした一つノウハウというか何か課題のようなもので、そうならないよう
な進め方だったりそうならないような運営手法をぜひ確立することにつながれば、何か討ち死にも意味が
あるのかなみたいなことを思ったりもするけれど、ちょっと言い過ぎかもしれないが、そのような印象を
持った。

【委員】文化施設というのは、ジャンルが本当にたくさんいろんなものがあるが、スポーツ施設のように
競技種目ごとに細分化されてない。ですので、本当にホールというところは使う人のやり方一つで、ど
んな空間にでも変わるという可能性があると思う。その中で今回新しい施設整理統合ということもあ
るけれども、先ほどの話に出たように夢がある話ができたかなというちょっと心残りはある。それから部活
動の地域移行というのが我々も気になっていて、特に吹奏楽部の皆さんはコロナで4年間大会の出
場とかスポーツの応援ができてない。その間に上級生は卒業してしまって、上級生から下級生の指導
育成とか、経験値も全然伴わないまま、また新しい生活が始まってきている。部活動については、地
域でやってくださいということで、学校にある楽器なんか中に浮いてしまうということもある。そういうもの
を公共施設、ホールなんかに収蔵して、新しい地域での部活とか取り組みができないかなというのも
考えているけれど、そうするとやっぱりこの中で議論したけれど、物置というのが非常に大事な要素にな
ってくる。これからの公共施設に必要なのかなという感じを持った。

【委員】今回いろんな意見を出させてもらったが、あれが抜けてるとかこれがどうかとかいろんな細かい
要望に関しまして過不足なくまとめていただいたと思う。ただそれがそのワクワク感に繋がるかどうかと
いうのはまた別の話にして、なかなか難しい取りまとめをしていただいたと思っている。ただ私がずっと最
初から言ってるのが、再編とか再整備とかその中で、新しいものがとにかく必要だというのはもちろんそう
ではあるが、それが大きな箱として施設としてということの印象が、あまりそれを強く持たれてもなと思
う。ただ、これからの時代はそう言う話ではないので、いかに皆さんに興味を持ってもらって、これからず
っと再編していくのに、やめるのがあれば新しく生まれるものもあるという中で、例えば箱ものだけではな
くて既存の施設も利用しながらとかというようなことがうまく伝わればいいんだけどなと思っている。とにか
く私もそういう文化的なこととか好きなもので、音楽ライブも多分多いときは月に3回ぐらい県外でも
聞きに行くんです。県外とかにどうしてもなってくるもので、鳥取の中でそういう場所が生まれるのを大
変楽しみにしている。

【委員】文化芸術に親しみなかった方にも親しんでいただけて、気軽にこんな面白い活動とか施設があるなら鳥取に住んでみたいと思う人が増えるような施設になってほしいと思う。

【委員】いろいろまとめられるの大変だったんだろうなと思って、こういう形になるのはすごく労力もかけられたと思うし、いったんまとまったと思う。育成発信という文言が入ったということだけでも話をしてきた甲斐があったかなと思う。この県立美術館がオープンして1ヶ月になるが、担当の展示があったため何度もオープン直後に通っていたが、晴れやかな空気とか場所が生まれたことで、その人の行動が変わるとか目の前で変化が見れていくというのはすごくチャンスだと思うので、今オープンからの流れというのをじっくり観察していければ良いんじゃないか。良いところは真似して学んでいったらよいかなと思っている。どういう形で市民の方に資料がいくのかは気になるが、デザインとかアートとかビジュアルを扱う人間はものすごく文字資料がとても苦手で、ちゃんと書いてあることをすべて受け取ることができていないと思う。もっとアートに関わる人間に発信するにあたって、その意見を聞きたいとか伝えたいというときに、デザインを取り入れるとかもっとわかりやすいキャッチコピーを入れるとか、そういうイメージに働きかけてくるアウトプットをしていただければもっと興味を持つ人も増えるし、広がりを見せていくんじゃないかと思う。そこは期待をしている。楽しみにしている。

【会長】基本構想とか基本計画をまとめたときに、概要版とか、両面 A3 両面で概要版カラー版と作って配布するとか、パブリックコメントを喚起するとか、そういうことは行われているので、ぜひそのようなものを作って呼びかけていただければと思う。そして、新しく施設を作るとことは、今後のまちづくりとか地域とか子どもたちとか、あるいは県外とか、あるいは世界とか、何かしら働きかけていくことができる大きなチャンスだと思うのでやはり夢があり、実現可能な施設を、ビジョンを持って作っていただきたいと思う。

3 閉会

以上